

2020年2月6日 ゴールドエイジ様に車椅子を寄贈させて頂きました。

2020年2月6日 月刊 時局3月号に掲載させて頂きました。



ゴールドエイジの水谷取締役
アシュリー&40メイキスの鶴飼社長



『月刊時局3月号』

松下幸之助直伝/経営者心得 江口克彦
事業を始める時の心得

多様性が強みとなる東海地域の農業
閉ざされたテフレ脱却への道

寺脇研が見つめる社会の交差点
2019年の騒動から教育・文化の在り方を考える

小川賢太郎
次世代のために
垣根を越えた国民的議論を

Breakthrough Bank 情報パレット PALETTE

企業がパン備蓄し被災者へ「Helpan171」

「一般社団法人 Breakthrough Bank (ブレイクスルーバンク 名古屋市場地区)の運営する災害支援ネットワーク「ヘルパン171」が、愛知県内の自治体や商工会議所、連立会社を中心に広がりを見せ、全国規模へと発展している。

ヘルパン171は、全「ヘルパン171」で提供される備蓄用パン「パートナーステッカー」

国の企業や個人が「パートナーステッカー」となり、代理店を通じて、パンを購入し、備蓄。地震や台風、大雨などの災害に被災した際は、被災者に配布するなどして活用する。パートナーステッカーは、被災者が発生した場合、代理店などが輸送をパートナーステッカーと呼びかける。備蓄するパンの賞味期限は5年間、製造は北海道の授業施設が行っている。味はキヤラスルチョコ風味でタマゴ不使用、1つずつパックに入っており、内容量は55g、サイズは縦70×横70×高さ45g。パートナーステッカーは、子どもから高齢者までが食べられるよう、しっかりとやわらかい。そのため、賞味期限が過ぎれば、食事やおやつとしても食べることができ、子どもも食料や学費の備蓄施設などに提供されているという。それまで食べきれず期限切れとなっていたパンは、リサイクルなどに再利用して、家畜の餌などに用いたり、パートナーステッカーは1口40個から、費用は1万円(税別)、備蓄数に比べてパートナーステッカーが配布される。1〜4口の場合はイエローグリーン、5〜9口の場合はグリーン、10口以上の場合はレッドとなる。被災者に見えやすい場所にステッカーを貼る。災害時、パンが提供される場所の目印として活用できる。

代表理事を務める北森勲氏は昨年発生した台風19号が広域を襲った長野県豊野町地区の避難所へ、200口余りのヘルパンを支援した。全国のヘルパンがいれば、より早く的確に支援ができたはずと感じたという。今後は全国に向けた取り組みをさらに加速させる。北森氏は「現在、車に備蓄できる防災セットを開発中です。温度管理の問題をクリアし、早くご提供できるようにしたい」と意気込んでいる。

Helpan 171 災害支援バンク

一般社団法人 Breakthrough Bank
代表理事 北森勲
名古屋市場地区洲雲町3-2-6
BlueGreen 703
TEL: 052-875-8171
FAX: 052-875-3171
URL: https://helpan171.jp/

台風19号の被災者に支援を行うスタッフ